

NTCIR-14 OpenLiveQ タスク参加者用テストコレクション利用許諾に関する覚書

(NTCIR 参加者用)

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構（以下「甲」という）と
（以下「乙」という）は、甲の一研究
機関である国立情報学研究所にて企画・運営・実施している NTCIR において甲が提供する「NTCIR-14
OpenLiveQ タスク参加者用テストコレクション」に関して、以下の通りの覚書を結ぶこととする。

第1条（データの内容）

1. 「ヤフー知恵袋検索データ」とは、甲がヤフー株式会社から、本件データの利用を希望する機関であって、甲の実施する審査に合格し、かつ、甲と本覚書を締結した利用者である乙について、情報学に関連する研究を遂行するにあたり、利用させることを許諾された以下データのことであり、（ヤフー知恵袋検索データ）
ヤフー株式会社が自己の業務として実施しているサービスに関するデータのうち、NTCIR(甲が主催する情報アクセス技術に関する評価ワークショップ)の検索課題クエリ、検索課題クエリに対する検索結果ランキング、評価用検索結果ランキングに対するユーザ動向の要約データ（詳細は別紙に定義する）および本件業務のためにヤフー株式会社が必要と判断するデータであり、ヤフー株式会社が甲に提供するにあたり指定するもの（秘密情報は除く）をいい、複製物である場合を含む。当該データの利用にあたって関連資料等が必要となる場合はこれらも含む。
2. 「タスクデータ」とは、甲が主催する NTCIR において、甲が設定した課題に関する適合性判定データのことであり。
3. 「未加工提出結果データ」とは、甲が主催する NTCIR において、甲が設定した課題について、当該タスクの参加者が提出したシステムの実行結果の未加工のデータのことであり。
4. 「評価データ」とは、「未加工提出結果データ」に対して、あらかじめ定めた基本評価算出ツールを用いて算出して得られたデータのことであり。
5. 「テストコレクション」とは、「ヤフー知恵袋検索データ」、「タスクデータ」、「未加工提出結果データ」、「評価データ」の総称である。

第2条（権利の帰属）

1. 「タスクデータ」に関する著作権は、甲および NTCIR-14 OpenLiveQ タスクオーガナイザまたは NTCIR-14 OpenLiveQ タスクオーガナイザの所属機関に帰属する。
2. 乙が、「テストコレクション」を利用して開発した技術、システムなどに関して生じた知的財産権は、乙に帰属する。
3. 乙から提出されたデータに基づいて、甲が行った分析結果、「テストコレクション」の改良などに関して生じた知的財産権は、甲に帰属する。

第3条（利用許諾）

甲は乙に対して「テストコレクション」の利用を許諾する。

第4条（利用許諾の範囲）

1. 乙は、「テストコレクション」を NTCIR の課題遂行および課題に関連する研究目的にのみ利用できるものとする。
2. 乙は、情報学に関連する研究を遂行するにあたり「ヤフー知恵袋検索データ」をその分析対象とするものとし、かつ「ヤフー知恵袋検索データ」を利用した研究の成果を発表するために必要な範囲を超えて利用してはならないものとする。
3. 乙は、「テストコレクション」を利用する者を、下記の研究代表者および当該研究代表者と同一組織（研究室、グループ、プロジェクト等の名称を問わない。）に属し、直接に共同して研究を行う者、ならびに当該研究代表者が直接指導する大学院生等（以下「研究グループ」という）に限定されるものとする。

記

研究代表者（研究グループ代表）

所属・職名：

氏名：

4. 乙は、「テストコレクション」およびその全体または一部を複製したもの、あるいは、それを復元できる状態に加工されたデータを第三者に対して、売買、貸与、刊行、配布、送信可能化をしてはならない。
5. 乙は、利用者の名簿を管理し、甲から求めがあった場合は、遅滞なく、これを甲に提出するものと

する。

第5条（提供の方法）

甲は、技術的に妥当な手段により「テストコレクション」を乙に提供する。

第6条（知見の発表）

1. 乙は、本覚書に違反しない範囲において、「テストコレクション」を利用して得られた知見に関する研究発表を行うことができる。
2. 乙は、「テストコレクション」を利用した研究の成果を発表する場合、事前または発表後ただちに当該成果にかかる出版物または印刷物等の資料、或いは発表論文の書誌事項（掲載資料名、巻号ページ、出版者、発表年月日等）とともに発表論文の別刷りまたは写しを二部、論文発表の都度、甲に提示・贈呈するものとする。当該研究成果についてメディアを対象とした広報や研究報告等を行う場合（メディアから取材依頼を受けた場合を含む）は、甲に事前に許諾を得ることとする。
3. 乙は、前項の出版物または印刷物等の資料に、適切な例示を超えて、「テストコレクション」を引用・掲載してはならず、「テストコレクション」から得られた特定の個人および組織を識別することができる情報を記述等してはならない。
4. 乙は、「ヤフー知恵袋検索データ」を利用した研究の成果を発表する場合は、当該研究が「ヤフー知恵袋検索データ」を分析した結果に基づくものであることを、印刷、映像、放送その他直接知覚することのできる方法を用いて明示するものとする。ただし、本項本文の履行に際し乙は、ヤフー株式会社の商標、サービスマーク、ロゴ等使用してはならない。
5. 乙は、研究発表において、自己の研究を記述するために必要な場合に限り、「テストコレクション」に含まれるデータの一部を引用することができる。その際、引用する部分の著作権および出版者等の権利を侵害してはならない。
6. 乙は、「未加工提出結果データ」もしくは「評価データ」を利用した研究成果を発表する場合は、発表論文において、これらのデータの性質と収集法を明確に説明する。
7. 乙は、発表論文に、テストコレクション名を明記し、かつ、NTCIR-14 OpenLiveQ のタスクオーバービュー論文もしくは甲の指定する論文を必ず引用するものとする。
8. 乙は、「テストコレクション」を利用して得られたデータの公開については、事前に甲から書面による承認を得ることとする。
9. 乙は、「テストコレクション」を用いた評価結果を商品の広告、宣伝などの営利目的、および誹謗・中傷に用いてはならない。

第7条（覚書の有効期間）

1. 本覚書の基本有効期間は、覚書締結日より2020年3月31日までとする。ただし、本覚書の基本有効期間満了日の1ヶ月前までに、甲または乙から本覚書を更新しない旨の書面による申し出がない場合には、更新有効期間として一年間継続するものとし、以後も同様とする。
2. 前項の規定にかかわらず、甲は1カ月前に相手方に通知することによりいつでも本覚書を将来に向かって解約することができる。
3. 基本有効期間または更新有効期間をさらに更新しない場合は、乙は本覚書の有効期間満了後、すべての計算機およびメディアから「テストコレクション」を速やかに消去しなければならない。
4. 乙の属する組織または乙の所属に変更の生じた場合は、遅滞なくこれを甲に報告し、甲が必要と決定した場合、覚書の取り交わしを行うものとする。

第8条（報告書の提出）

1. 乙は、NTCIR の定められた手順に従って、成果報告を甲に提出するものとする。
2. 乙は、有効期間満了日の1ヶ月前までに「テストコレクション」を利用した当該年度の研究活動に関する報告書を甲へ提出するものとする。

第9条（データの利用中止）

1. 乙は、本覚書に違反する利用が行われた場合、甲の申し入れにより、直ちに「テストコレクション」の利用を中止し、すべての計算機およびメディアから、「テストコレクション」およびこれを加工して得られたデータの全てを速やかに消去し、消去した旨の書面を甲に提出しなければならない。
2. 「テストコレクション」の著作権者または利用許諾権者から、個々のデータの利用中止の要請があった場合、乙は、甲の申し入れにより、すべての計算機およびメディアから該当するデータを速やかに消去し、消去した旨の書面を甲に提出しなければならない。

第10条（免責事項）

甲および「テストコレクション」の著作権者または利用許諾権者は、理由の如何を問わず、乙が「テストコレクション」を利用したことにより生じた不利益について、一切の責任を負わないものとする。

第11条（協議事項）

本覚書に定めのない事項が生じた場合は、甲乙は誠意を持って協議し、問題を解決するものとする。

第12条（管轄裁判所）

本覚書に関する一切の紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

以上、本覚書の成立の証として本書を2通作成し、甲乙記名押印の上、各1通を保有する。

年 月 日

(甲) 東京都立川市緑町 10-3
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
機構長 藤井 良一

(乙) 住所 _____
名称 _____
役職名 _____
氏名 _____ 印 _____

別紙—NTCIR-14 OpenLiveQ タスク参加者用テストコレクション

(NTCIR 14 参加者用)

1. 「検索課題クエリ」とは、ヤフー株式会社の検索ログから抽出されたクエリから、タスクオーガナイザが評価実施可能性の観点から取捨選択したもので、コミュニティ質問応答サイトの検索システムの評価に用いられるものをいう。
2. 「検索課題クエリに対する検索結果ランキング」とは、ヤフー株式会社が提供する知恵袋検索サービスにおける特定の「検索課題クエリ」に対する検索結果を関連度順に整列した、質問識別子とランキングからなるデータをいう。
3. 「評価用検索結果ランキングに対するユーザ動向の要約データ」とは、研究用検索システムによる課題遂行結果の優劣を判定するために、検索者のクリック動向情報から抽出・要約され、プライバシー情報、機密情報などを削除する処理を実施したものをいう。